

|   |           |     |               |            |                 |
|---|-----------|-----|---------------|------------|-----------------|
| 03月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> 山行報告書 |           | 報告者 | 竹内            | 参加<br>メンバー | CL:竹内幹雄<br>塚本英吾 |
|   |           | 報告日 | 04/30         |            |                 |
| 山城  | 天城山系・丹沢山地 | 山行日 | 12年03月23日(金)～ |            |                 |
| 山名  | 天城山・丹沢山   |     | 12年03月25日(日)  |            |                 |

|      |        |                    |
|------|--------|--------------------|
| 山行目的 | 百名山を登る | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|--------|--------------------|

|     |                                       |
|-----|---------------------------------------|
| 配布先 | 総会参加数<br>山行: 1<br>リーダー<br>原紙:<br>会事務局 |
| 配布先 |                                       |
| 配布先 |                                       |
| 配布先 |                                       |

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図: 秦野・大山・青野原、天城山

|            |
|------------|
| 天城山        |
| 3/23 雨     |
| 7:35 登山口   |
| 7:53 四辻    |
| 9:00 万二郎岳  |
| 9:44 石楠立   |
| 10:25 万三郎岳 |
| 11:20 湊沢分岐 |
| 12:27 四辻   |
| 12:45 登山口  |

|             |
|-------------|
| 丹沢山         |
| 3/24 曇りのち雪  |
| 7:05 登山口    |
| 8:00 丹沢の門   |
| 9:26 堀山の家   |
| 10:34 花立山荘  |
| 11:25 塔の岳   |
| 13:00 丹沢山   |
| 14:45 不動の峰  |
| 16:05 蛭ヶ岳山荘 |
| 3/25 晴れ     |
| 7:50 蛭ヶ岳山荘  |
| 10:05 丹沢山   |
| 11:45 塔の岳   |
| 13:18 堀山の家  |
| 14:09 見晴茶屋  |
| 14:55 登山口   |

〈山行報告〉前夜に刈谷を出発、東名高速道路を走り愛鷹 PA に到着して仮眠する。翌朝、車を走らせ天城山の麓にある登山口、天城高原ゴルフ場に到着。登山者用の駐車場に車を駐車して出発する。天候は今にも雨が降りそうだ。登山道はしっかりしており道標を見ながら進んでいく。ヒメシヤラなどの雑木林の中を歩いて行くうちに雨が降り出してきた。登山道をひたすら登り、万二郎を過ぎ万三郎岳に向かう。途中、シヤクナゲの木が見えてくるがこの季節では、花は咲いてない。やがて最高峰の万三郎岳に到着。天気が良ければこの辺りから富士山が見えるかもしれないと思いながら、下山は湊沢分岐方面に周回して登山口を下りた。その後、温泉に立ち寄りながら車で丹沢山の麓に向かう。夕方、丹沢山への登山口がある大倉に到着、有料駐車場に車を止め、ここで仮眠。翌朝、登山口を出発、大倉尾根から蛭ヶ岳を目指す。途中丹沢の門でおいしい湧水を飲む。ここから塔の岳までに休憩するのに良い山荘や茶屋が4件ほどある。「人気の高い山だな」と思いながら登って行く。やがて塔の岳に到着。曇り空の下で景色は見えない。この先は所々で登山道に雪が積もっている。滑らないよう注意しながら進む。丹沢山に到着。温度も下がり寒さを感じる。この頃から雪が降り出してきた。小屋で休憩した後アイゼンを装着して、雪道を進んでいく。ここから先は登山者も少ない。行動時間が長く疲れも溜まってきた。稜線歩きから鎖のある岩場を過ぎ、そこから鞍部に下り最後の登りを我慢して進むとようやく蛭ヶ岳山荘に到着した。「ほっとした」気分になる。それまで降っていた雪が止み、空も晴れてきて目の前に富士山がくっきりと顔を出し「すごーい」の一言です。今夜の泊り客は3パーティだけだった。小屋のおやじさんから、差し入れの焼酎を頂きながら、おやじさんの「とっておきの話」を聞きながら楽しい時を過ごすことができました。翌朝も天気は晴れ。富士山をしっかりと見た後、下山開始。塔の岳でアイゼンを外し休憩する。ここでは登山者が溢れるほど休憩していた。そして、ここから先はひたすら下り、登山口のある大倉に無事下山をした。そして、車に乗り東名高速を走り刈谷へと帰宅しました。

〈リーダー所見〉天城山は天候が雨で景色を楽しむことができなかつた。またいつか天候の良い時に登って見たいと思う。丹沢山はこの時期、塔の岳を過ぎてから登山道に雪が残っていたのは予想外だったが、それを事前に予測していた塚本さんからアイゼンを貸していただき安全に歩くことができ、ほんとうに助かりました。また今回の山を甘く見ていたことを反省しています。蛭ヶ岳の「小屋のおやじさん」と酒を飲みながら山の話聞いたのもいい思い出になりました。

《フリースペース》

蛭ヶ岳から見た富士山

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| 確認<br>(リーダー) | 竹<br>12/04/30<br>内 |
| 作成<br>(報告者)  |                    |
|              | 竹<br>12/04/30<br>内 |